



国から輸入する業者が多いのは嘆かわしい。こんな事をして居たら対外経済がラジルは首を吊らねない状態に置かれると警告を登したが果せる哉。現況はその警告が当たっているのではないかと思われす。

○養蚕業界に續いた冷風

一九四八九年頃引續いてその飼育を行つていた人々には判り難い記憶して居られるでしょうが、その頃は高価キロ、九針乃至十針で、いつになつたら養蚕界に春風が吹いてくるか、その希望さえ失われれる状態でありました。

その頃の世界絹糸市場はとうであつたが、日本やイタリヤその他の国々も戦争の惨禍を蒙つていたためつりたつたと言え、経済復興の線に向つて努力を續けだんだん安定した経済の立ち直りを見せはじめ、絹糸にしては戦争終了直後のような捨て値で手放す必要がなくなつた。戦争という火の過(うず)巻きの中で深刻な生きかたをして来た世界中の人々にも経済的余裕と共に何か適み味が滲みはじめ、セーターは再び脚光を浴びて全世界の女性へオスルメとされることとなりました。日本生糸を輸入していた伯国の織物業者たちも、世界的需要の波に乘つた生糸は、今迄の様に容易に入手できなくなつたばかりか、価額も点でも「又レ手」でアワシと言ふわけにいかなくなつたので、国内原料確保を必要とするに到りました。それが立証出来るのは五〇年あたりから一そくどびに三〇針になつて居ります。しかし伯国に於ける蚕糸業者はまだまだ不安で、いつ又過まにあつた様なおんが不況が襲来するかも知れぬと枕を高くして寐て居られなかつたのでした。

○蚕糸業の擁護は業者自体でやれ

と、叫ぶ声

その頃フランスの経済状況から見ても他国生糸の輸入を止めなければ、フランスに於ける養蚕業も一応安定した農産業となり得る可能性は生糸業者の解する処となつて来たが、その対策を如何と、如何の養蚕家や製糸業者が政府に請願して見ただけでは済まらぬ話です。それに引き換え織物業者は全国的なつながりをもつシンジケートを有し、生糸の輸入に對しては「国内消費をまかなうに足る国産生糸がアラジルでは生産できない」との理由で申請するのを簡単に輸入許可を取り、この輸入して居るたのであります。このみちめな状態を見ていた人々の中にはある有力なフランスの政界、官界、

民間が居りました。その中に現バウリス養蚕協会、頭フランシスコ・トレド・ピオ・前聖州養蚕局長、マンス・イスレー・ジエ、前聖州農業者協会連合会理事長(F.A.R.E.S.C) 現連邦代議士、イリス・マイン・ベル・グ氏等です。時の氏神とでも申せました。この先覚者は口を揃えて「小さくてもよいから全州の業者が打つて一丸となり蚕糸業者の団体を作れ」と力説してくれました。この訓に従い、州農務長官とF.A.R.E.S.P.理事長イリス・マイン・ベル・グ氏が「産婆役」として生糸の「バウリス」養蚕協会「なる」を生れたばかりの「バウリス」養蚕協会に早速故バルガス大統領に對し、「国内で必要を生糸の生産は数字の上から立派に出来上つて居る。又将来国内消費が増大し、その生産増加を行つてから外國生糸の輸入許可を阻止して頂き度い」と協会の名義で請願運動を起し、大統領は国会の経済対策委員アル・カマラ氏を特派して協会の大会に列席せしめたのであります。カマラ氏は協会員の蚕糸業に對する熱意に感激し、又事実上の生産数字を手にして必すや外國生糸輸入阻止の手を打たんと約束して退場されたが、協会の運動

**ALBATROZ**  
Sabau Lava Melkor

ヨクオチル  
テカアレナイ  
クスレナイ  
ヤスイ

バスター市内  
各商店にあり  
アルトロズと御指差  
下さい



アルバトロズを  
あつかい下さい  
速もほかの  
サボンなど  
つかふ氣になれません

SAPATARIA HAYAKAWA

ヨイクツヲ ヤスク  
サシアケル ノガ  
ハヤカワノ モットー  
テス

クツノコトナラ  
マツ ハヤカワへ

早川靴店

はその日から効を現わし、数日後バルガス大統領は輸入許可を差止めたのでありました。  
輸入許可申請は織物業から其後しほしは提出された模様ですが一度として成功しませんでした。又アランニア氏が蔵相として就任し、経済対策として行われたアジオのカタゴリア(為替等級)設定にも養蚕協会は申請を怠らず、生糸輸入は第五カテゴリアとなり輸入許可を受ける事ができても事実上の課税で、輸入品は国内産生糸の三倍にも四倍にもなるので輸入不可能と同様となり、協会創立後まじの一番も生糸の輸入は行われなかつたこと功と特筆大書する可きでありました。  
○註 本文は、あと一回あり筆者は一回に掲載方希望され居りますが、存じの通り本紙は紙面が狭小なもので旋方なき、残余は次号へのせまます。養蚕界の将来が次回です。御期待下さい。

### バストスの七不思議

先週記事幅狭の為の休んで此の気が抜けたが、あと三つだから此つきたい、がその三つが難物で下手をすれば筆禍が首のこが相代物はかり

### 5. バストスのホンカンか? 聖州のホンカンか?

バストスから転耕者が続出するのは、色々理由によるが、第一が経済的行話りだといふ。土地を売れば百コント位金は入手するので、それを資本にどこかよい処へという考えを起す。つまり農家が養鶏なり養蚕なりの暇々に永年作物を植えて、それから上る収益で惣々と貯蓄ができて、ようやくしたならば、落付くであろうと農家の為めバストスの為めとホンカン栽培奨励ののろしを上つたのは、外ならぬバストスの生みの親畑中さんだ。勿論畑中さんの考えは、バストス中心の考えである。バストスに入りホンカンを一ニアルケル植えてもらつて本業は養蚕か養鶏でもそれで支え、三四年間はホンカンが金になりだしたら、すざいことになる。よと宣伝である。この宣伝はたしかに時宜を得たものだ。バストス人に大きな希望をもたせたようである。よと宣伝は、このホンカンの苗木を作るといふ金もうけになること、猫も杓子もなるといふ(猫も杓子もなるといふは、いませんを)苗木製作業をやりはじめた

おどろく勿れ十と九人。この人々が一せいに眠によりをかけた苗を作るとする。苗ができれば、まさか捨てるわけもいくな。勢い競争をしても売り捌かぬ。これは需給の関係で、フレキのかけようはない。従つて、他地方へほんく、振がら、まさかメシの代りにホンカンでかまへんする時代にもなるまいか。この辺たしかにバストス七不思議一穿入選と云うてはありませぬまいか?

### 6 真下眼科の大注射

病院があつて、お医者様が居て、患者があつて、それでどうして病院が立ちゆかぬであらうか。この方が七不思議には手取り早いわけではあるが、少し薬を利かさぬと面白くないので、真下さんを引合いにした。バストス病院は真下さんに二食注射をうってもらつた。カンフル注射と食塩注射だ。古い処では、スラ招通當時代に病院の経営には涙を流し、つらいつてバストス産組にやらせて見たのだが、移管といひ條々切れんので、まアていさいよく押しつけたようなもんか。産組も泡をふいたね。何故だろうか。その答は

### 永松さん 職場に驚る

前山商店の永松さんといへば、バストス劇壇の三枚目、なくてはならぬ役者で、芝居なり飯より好きを人であつたが、去る五月廿四日閉店まじわのお客様さんをアテンサしてパン粉一俵を頭にのせ、惣々とカサドへ片足をあつた。とたん、雨でぬれていたせいかわつり、こつてカルサドの角に頭をぶつけて運わるく首頭部を強く打し、脊椎骨首節を挫折した。直ちにツパン病院にかつぎ込込人だが、手の施しようなく廿五日夜息を引取つた。永松さんの人塔は、家人に愛されたいた、同僚に愛されたい

### 木炭値上廣告

來月六月一日より木炭の値を上げさせて貰います。(四〇針を五五針に) 何卒値上りに御立腹なく御用命下さる様 御願ひ申上ります

五月廿七日  
ナウ、テ、エ  
エスペランサ  
川佐 園  
上 藤 野

むつかしいことではない。安い上に皆がろくおろくないからだ。そこえもってきて経営者が素人だ。これではうまくゆくわけはない。このことは今の連日会にも、あてはまるだろう。しろうとが養鶏をやるといふのが病院経営だ。之はやはり医師を中心とする。藤原組合の中より手はなからう。かりに真下先生が伯公認の免許をもつて居られ、ここに陣取つて大いに世のトラヤカクマクを退治することとなる。假令しておらんない。バスターズは眼科ブームでホテルがすく二三けん建つた。う。真下先生は既に二本の注射を之を立証している。連日会幹部の方をもここに数年やつて見て、おい分頭をいためられた。あろう。もし真下先生の助け舟がなかつたら、溺れなんだと誰が保証をしますか。農田先生引出運動もある相を、結構な話である。もし来てくれたら、色氣出さ人と病院に熨斗をつけて上げてしまいな。とれ。(一)の位とやせ北もかめしまへん)

7. 移住振興会社バスターズ支店

支店ではない本店だ。という人もあるが、実はどつちでもないのである。狙いはバスターズから退植者を出さないことにあるのだから、そして農家に安んずる安んずる感をもつてもらうことにあるのだから。農家出て行きや、畑のこのころ、このころ畑は草だらけヨイヨいと町の連中一はいのんで喫つても居られまい。バスターズには縦の組織はガンジヨウのがいくつもある、まア組合の事だが組合の枠内では色々と立派な計画もできて居るだろう。しかしバスターズ移住地の横賞組織という軸はできていない。ある人が先日連日会が転耕者の喰めとめをなす可きたといつたが、これは、とてもとて、そんななまやさいい問題ではない。時によって資金なしには頼も出せるもんじやない。そこを一口に横賞組織といつても、経済力のある団体がなければ駄目だし、バスターズを死守しようという決心のある人が所といわす。シツクといわす一致団結して、支店でも本店でも先づ作ることをどう。農地に金をかけて、Eが耕地から今までの三倍も四倍も収益を上げることを見ア考え、実行してゆけば、そうあわてて尻と帳とあかすこともなからう。

振興会社などというものは、何れも、さては店ないのだが、そういう構想が発表されただけで、何かこうおあつて居てもわるくはない気がする。水島がたつように、さわがれて、平家むなくともハッとするね。どうか皆さん、果敢のよい七不思議を、発表下さい。(七巻)

スバラシイ分譲地

地点 聖市ラスサズセーより八十三キロ  
ソロカバ市より十八キロ  
サンロッキ市より十六キロ  
聖市国道アスルルタードに面す

面積 二百アルケール(何程でも分譲)

道作 水利の便よく、高低少し  
気候がよく、霧がかかぬ故、養鶏  
果樹、野菜に適す

地価 アルケール五のコント  
初年 五割 半金  
二年 二割五分  
三年 二割五分

サンロツケ市にはウツンニヨ会社があります。この辺一帯ウツンニヨ、其他果樹の多いことを証明して居ります。

御問合せは左記へ、マツパを、おらんに入ります。

南米銀行バスターズ支店 向い  
美香院内  
戸田源作

甘藷はいよく好調

前号に引つづいて搦本蚕種製造場主橋本光義氏の話を御紹介いたします。

○極東方面の蚕糸業は、とん様多か

大戦後極東に於ける蚕糸業は、一段と活況化し支那の蚕業は、ますます進歩、既に日本蚕糸業の大敵と見なされて居るが、その他インド以来の諸小国も、因策として蚕業を保護奨励して居る有様である。

最近の情勢によると、アジア各國の蚕糸業の隆盛は、その殆どがたさもりが、音々中々あると、日を追って、絹糸の生産は、世界的になりつつあること、痛感する。

○世界中で絹は引っぱりだ

今年の春夏シヨウは、世界各國とも絹一色と、以てぬりつぶされ、観がある。甚だ異色な例として、従来絹を用いる事僅少であったソビエツトのファッションシヨウは、本年は、ことごとく絹であったと、伝えられ、等、生産情勢は、吾々の生産者側をして

意を強うするに充分である。

戦前生糸はヤンキームスメの靴下位に  
と考えられたものだが、もうそんな時代は  
去つて最近では流行界の寵児として上流  
社交界に於ける必需品と化し、全次州だ  
けでも生糸の販路は無限であると言はれ  
る。又昨年あたりより一般織物中へ絹糸  
を混織する傾向が著しくなつてゐる。即  
ち化学織維、アルゴトン、又は羊毛への  
混織は一つの流行となつて生糸の販路は  
この辺のびて行くであらうか、更に工業  
方面への生糸使用も見逃すわけにはいか  
ない。高級電線の被覆用に或は幾多の機  
械の重要部分品として登場し重要視され  
つつある。そんな絹が道出したといつ  
ても織物全織維の〇.〇%（二歩）にしか当ら  
ぬと聞いたら諸君何と思はれるや  
産前生産過剰などという事があるに  
あつても、現に日本では年々生糸輸出が  
大して産前不足甚だしく、産前不足による  
休業製糸工場が次山をきたとさえ伝えら  
れる。何れは新興蚕業国から原料高を輸  
入するが又は工場を、それら生産地へ移  
動するがという立案を考慮されてゐる  
という。

○翻えつてお勝元のフラジル蚕業は？

伯國の如き養蚕に最も好條件を以て恵  
まれてゐる地でも何故養蚕業が盛んとして  
発達しなかつたのであらうか？ 思うに生  
産安定保証といふような蚕業保護政策が  
設けられて居なかつたこと、生糸販引の  
値段が余りにも変動的であつたこと、或  
は格付取引が今以て実行されてないこと  
といふような点があげられるのではないか  
。従つて商の品質はもとより養蚕家自体  
が基礎に於て浮動的なるが故に生産の面  
に於て経営の面に於て進歩改善の跡、産  
連の業績を示してゐない、もし一朝糸価  
が下り滴の値下りに直面すると忽ち生産  
は低下し之を阻止する方法がないといふ  
のが之れ道の概観である。  
加うるに近時桑園の荒廢は如何なる  
うか、その結果は飼育卵量と收前量に忍  
ぢあらわれくる。收前量の低下はかりで  
はない品質の低下といふ恐るべき結果で  
あらわれくる。特に警戒を要するは本  
邦の桑樹の更に荒廢してゐることである。  
桑葉に養分が不足して居れば未幾年の作  
柄にどういふ影響を及ぼすか三才の童見でも  
答へることかかざるであらう。之れを要  
するに東洋に、アジア的蚕業技術開發  
の提唱される。所以に、はなから方々か  
と考へる次第だが、ちとどが、い事を申上げ  
て相すまへんが、ついでにもう一とくち  
を提して、結びとしよ。

○蚕は桑を食う虫である！


蚕の品種はフラジルに於ても近年日本  
より幾多の種が移入せられこの面では  
幾分なりとも前進してゐる。観はあつたが、  
養蚕業者の旧態依然たる考へ方は、極端  
な云々方だが、蚕は桑を食ふ虫である  
ことと忘れられてゐるのではなかつたかと思  
ふ。ことと云へる。  
ところがみなさんこの暴言に奮起せられ  
て桑園に施肥し、良い品質の絹をとしと  
して生産せられ、絹価騰貴の好機を逸する  
ことのない様に準備され度い。この事は  
みなさんの利益であるばかりでなく、値  
國蚕業を國際水準に引上げる為めの大  
きな忠誠となる業績であることと御忘れに  
ならないよう。 是言多謝

週刊放言(くしゃくしゃしたうこて云いなき)

ラジオの廣告

フラジルでも日本語ラジオの聴取者が  
増えて放送する方も大張りきりでまこと  
にこのラジオだが、どの局の放送も廣告が  
大部分なのは放送に肩がこる。スポン  
サードなれは放送も成り立つまいが、こ  
の辺はほとんども放送をくばらないと聞く方がし  
まいにいや氣をさすだらう。  
一例をあかると過日ワリヤで、野球放  
送の際、あの放送は小野西川商會が少から  
ぬ金を投じて、やらせられたのだ相だから、同  
商會の好意と謝す旨一度や二度合の手  
入れるのは当然だが、誠合自熱して最  
一の決断いかんと片づかせるので、全  
一社の際、小野西川をいれるので、全  
くおろした。やんなつたやう、なんてい  
な店だらう、あんな店を誰か買物するもん  
かと、いふ氣になる。広告の逆効果である  
か、スポンサーを大功にする氣は判ら  
ず、毎日、親戚に吉原さんが応待され  
す。一本槍では吉原といふが馬鹿に見  
えてしようがない。全日本放送者  
の新しいセンスを望む。(バステンと生)

新入荷 おしらせ 誠実と勉強 ホント前 浮田金物店

- 肉魚焼網 (DUPLDS)
- PEGADORES CROMADO
- シーカラ (CAFE, CHA)
- TRAVESSA LOUCAS
- チャワン (三種類)
- SALADEIRA DEC.
- 塩入れ
- PLATA 各種
- ラステータ 12, 14
- TESOURA  (サビナイ小刀)
- カニベッチ

會葬 御礼

夫、亮儀 仕事中華故にて負傷いたし、トッパンサンタカー女に入院治療中、其の甲斐無之、去る五月二十六日午前の時三十分死去致しました。此儀生前辱知の皆様へ御知ら申上はます。翌二十七日の葬儀に際しましては遠路の処御多忙中にも拘らず多数御会葬下さいました上、御丁寧な御香華御供花を賜わり御芳情の程厚く御礼申上はます。

実は一々参上御言葉申上は可き処、愚儀にて是れ失礼ではございませすが紙上を以て厚く御礼申上はます。

一九五六年五月二十八日

妻 永松みよ子

長男 永松 則 雄

父 永松 巳三郎

母 永松 はるみ

弟 永松 千 雄

妹 永松 やす子

弟 渡 辺 隆

妹 渡 辺 はるみ

親戚代表

金野 伊太郎

山崎 正義

成田 敏雄

友人代表

坂本 真吾

島本 進

石橋 三雄

各位

御 挨拶

永年私の店舗に勤務中の 永松亮さん(コト)が仕事上の事故で負傷しトッパンの病院で療養中でありましたが薬石効無く五月廿六日他界致しました。私は雇主としまして一家の支柱と失った遺族御一同に東心より弔意を捧げるものでございます。

永松亮さんは常の私の片腕となり若い店員の先頭に立って立働きの、私の店を己が家の如く思って文字通り粉骨砕身懸命に御盡力下さった結果が此のようになりました。誠に氣の毒に存じます。私達一家並に店員一同の悲しみは遺族の方々と決して変るものではないと思っております。此の上はせめてその務めとして故人の靈を慰める意味で遺族の方の今後の在り方に微意をつくしたいと思つて居ります。尚 当日はバストスの皆様又、近隣の諸兄弟より種々御手伝を受けました事と厚く御礼申上は茲に謹んで御挨拶申上はます。

一九五六年五月二十八日

バストス 前山商店主

前山 義雄

妻 〇

同店員

西野 鉄雄

平岡 利昭

大崎 一史

各位

(Continuação nº 6)

SEM FAMÍLIA

-Hector Malot-

Eu tinha a eguido com os olhos, dolorosamente emocionado.

- O que quer, disse ele, é que esta criança não coma mais tempo o seu pão; continuando a come-lo, é que lho paguem, não é verdade?

- Justamente; porque... Oh!, o motivo, sabe que não tenho nada com isso, não preciso conhece-lo; basta-me saber que não quer mais a

criança; se é assim, dê-ma, encarrego-me dela.

- Remigio, vem cá. Aproximei-me a tremor, da mesa!

- Não digo que é uma criança feia. Se fosse uma criança feia não a queria eu; os monstros não me servem de nada.

- Oh! se fosse um monstro com duas cabeças, ou mesmo um monstro tem valor e que se pode tirar o proveito dele, ou alugando-o ou explorando-o. Mas este não é anão nem monstro; do feitio de toda a outra gente, não presta para nada.

- Presta para trabalhar. O velho passo-me a mão descarnada por cima das pernas, apalpando-as, abanando a cabeça e fazendo um tregeito de desdem. Eu já tinha assistido a uma cena igual a esta quando o negociante nos veio comprar a vaca. Ele também a tinha apalpado. Tinha igualmente abanado a cabeça e feito analoga careta; não era uma vaca boa, ser-lhe-ia impossível vendê-la, e no entanto tinha-a comprado e levado consigo. Ia aquele velho também comprar-me e levar-me.

Ah! mãe Barberin, mãe Barberin!  
Meteu a mão na algibeira e tirou uma bolsa de couro de onde saíram quatro moedas de prata, que ele deitou na mesa fazendo-a tinnir.  
- Lembre-se exclamou Barberin, que os pais desta criança podem aparecer qualquer dia! - Que tem isso?  
- O proveito será para aqueles que a tenham criado: se não tivesse contado com isso, nunca me teria encarregado dela.

- E é porque já não conta com os pais dele, disse o velho, que o pôé fora? Finalmente a que se hão de dirigir esses pais, se alguma vez aparecerem? a si não é verdade e não a mim, que eles não conhecem  
- E se for voce que os encontre?  
- Então combinemos: se ele encontrar algum dia os pais, reparti-remos o lucro, e eu dou trinta francos. - Diga quarenta.

- Não, para os serviços que ele me ha de fazer não é possível.  
- E que serviços quer que ele lhe faça? Boas pernas e bons braços tem ele, fico no que disse; mas, enfim, para que acha que ele sirva? O velho olhou para Barberin com ar velhaco, e despejando o copo a pequenos goles: - Para me fazer companhia, disse, estou-me fazendo velho e as vezes, á noite, depois de um dia de fadiga, quando o tempo está mau, veem-me ideias tristes; ele distrair-me-á.

- Para isso, não precisa ele ter as pernas mais fortes.  
- Mas é que sim, porque há de dansar, depois saltar, depois andar, e depois de ter andado, saltar outra vez; finalmente tomará lugar na companhia do signor Vitalis. - E onde está essa companhia?  
- O Sr. Vitalis sou eu, como deve imaginar: a companhia vo-lha mostrar, visto que deseja conhece-la. Dizendo isto, abriu a pele de carneiro e tirou com a mão um animal estranho, que trazia debaixo do braço esquerdo; encostado ao peito. Era esse o animal que por diferentes vezes tinha feito levantar a pole de carneiro; mas não era um cãozinho, como eu tinha imaginado. Eu não sabia que nome dar aquela criatura extravagante que via com estupefação pela primeira vez.

Ah! que feio macaco! exclamou Barberin. Esta exclamação tirou-me do meu espanto, porque se nunca tinha visto macacos tinha pelo menos ouvido falar neles; não era então uma criança preta que tinha diante de mim, era um macaco.  
- Eis, o primeiro personagem da minha companhia, disse Vitalis, é o senhor "Joli-Coeur". "Joli-Coeur", meu amigo, cumprimenta a sociedade. "Joli-Coeur" levou a mão fechada aos lábios e enviou-nos a todos um beijo. - Agora, continuou Vitalis, apontando para o cãozinho branco, vamos a outro: o signor "Capi" vae ter a honra de apresentar os seus amigos á estimavel sociedade aqui presente. (continua.-)





# COTERP

## 最北パウリス夕線に近い マトグロソ州

位置 アタマンチーナ市より百二十キロ。パ線終点パウリセリア港より  
 パラナ河を渡ると、マトグロソ州です、河畔より僅か七キロ  
 鬱蒼たる大原始林となる

面積 三十五万坪の内、本年分譲地六万アルケール  
 標高六百米以上の地は珈琲、中位は雑作並牧場、低地は米作  
 何作にも適し希望される土地を何程でも分譲いたします

地価 一コト五百軒より十コト迄(一域)五等級あり、マツパのネコシで  
 なく実地を見ていたたきます

支払 は初年三〇% 残額は四年々賦(年利八厘)

地権 カイケ会社の土地ですから絶対まちがいありません

今やパ線から百三十三キロの地点でマトグロソ州を入手することは、本分譲地以外に  
 は先がありません、此の肥沃な土地を、あなたの子三男の分家  
 の用意に確保しておくと、おすめ致します

御視察希望は、シヤカラ 信太準治、御申込下さい、御案内いたします

詳細は コテル石 土地会社 日本人部 責任者 信太 清

## 御 礼

荊妻つちえ、この度の度訪日帰國を思  
 い立ちまして、去る五月廿六日出發致し  
 ました。実に二十七年振りの郷里 和歌山  
 の土を踏むことになりましたので、本人の喜び  
 は申す迄もなく、此の望みを叶えてやる事  
 の出来ましたことを、私共丹心秘かに満足  
 して居るものでございます

それにつま、ましても御近隣の皆様、且つ又  
 御交誼を願って居ります方々より、此の件  
 につき並々ならぬ御世話に相成り、御饒  
 別や御見送など行き届いた御友情  
 に接しまして誠に有難く感激の外に  
 さいません  
 一々御言葉に参る可きであります、が  
 取りあえず紙上を以て御礼申上ります  
 一九五六年五月十八日  
 フルツラ

各位  
 新谷 嘉四郎  
 新谷 嘉四郎  
 新谷 嘉四郎

## バストス哥会 No.66 詠 草

五月十三日

嘆心何かそわぬ氣兼あり  
 司令部おかりて語る日本語  
 思春期を母にそむきし記憶あり  
 真情あふるる言を受け得で  
 頻視みまのまに眠れる老眼鏡  
 そつとはせせと妻は目ざめず  
 露にほす桃色ほらの七分咲き  
 生け花を態を描きつつある  
 働かず晝間のうき身付に  
 白やとおとろえはしのびよりか  
 秋陽澄え味さみり木綿の片枝切る  
 電気エエ支のあつさもこのし  
 ベンチの揺り椅子に猫が眠りある  
 母の日今日の冬陽穏しく  
 乳不足の子やうやくに寝せつけて  
 妻こつそりと起して又縫う  
 常は中が病の退校して炊事せむと  
 いう音子を不憫に思う  
 遠長とある度、ほつと息づく  
 螢光灯消せば余光が闇に浮く  
 読みし文の名残りのごとく  
 咲きそめしと見えし菊もいつしかに  
 盛りを過して霜の声きく  
 傷りと矛盾に老ちれ世に生きたる  
 去りし子の重た預けもろさありて  
 暮れ近みさし音をいなす

羊鈴  
 和枝  
 咲絵  
 千代子  
 はら  
 菊子  
 枝美  
 一男  
 はせし  
 子工  
 大納言  
 勝南  
 夜待翁

吾々になじみの多い  
ブラジルの薬草

十二 日本名 ヲクサ *Commelinaceae*

科名 鴨跖草科  
学名 *Commelina Communis*

地方にはそれれ方言異なるとしてよび  
なりされた名前があるがそれらの語源  
〇 ヲクサ 露をよく保つところから露  
〇 竹葉菜 葉の形が竹の葉によく似る  
〇 木ウシバナ 帽子花で形から出た言葉  
〇 ギスグサ ヌツク虫の外の鳴く虫の  
当地でも畑地等に自生 養鶏家が緑餌と  
して利用して居ります  
神代のも昔植物の名前改めがあった推  
松に似て名前のない木があったが松にあ  
まり似てゐるので、ギスグサになるだろうと  
アスナウツクといふ名がついたといふ話  
ありませぬが、此の時ツクサも身の上話  
の末、私は百日の日照もこわくないが地  
の下の一すは地獄だといつた相です  
此だからといふ話でもありませんが私達  
はこのものを土に付けて絶えず様にして  
居ります。然し土の中で白い茎を出して  
の先に実をつける。落花生の様々特性が  
ありよく似たものでもここにも適者生存の  
姿を見る事ができます

山野に自生するものに普通のつゆ、さびが  
あり、その外マルバツユクサ、ハヒツユクサ  
等がある。オホボウシ花といふのは花も  
美しく観賞用のものでも、花壇に植えた  
り、生花等によく使われる。ムラサキツユクサ  
は多年草で根際から細い葉を出し花茎も  
直立三〇―五〇センチ位。花も沢山つくと  
う風にツユクサとは大変おもむきが違って  
居ります。がやはり同科で北米原産であま  
毒出のかんた時に葉の汁を絞って、かわか  
ないようにつける  
脚氣や心臓の悪い時には、ハツレモツユクサ  
の全草一つかみを煎じ出し、ノドのかわきに衣  
し茶代りに飲む。乾しておいたものも少  
しくさいが薬としては飲みにくいという  
程ではありませぬ。とに角葉草は一度のん  
ごしすべさくものもありませんが大抵は氣  
永くのもむことが大効であります  
(此の稿未完 下段を生長の家に割きまわしたので  
あしがうす)

*Supa Natta Poljovica e Sma Nalava*

*2. Paspalum grande non puberulum var. var.*

生長の家 會計報告

去る五月十八、十九、二十日の三日間、一線会館に於て奉行  
された生長の家神性開發練成会は参加人員百十三名  
講師八名にて予期以上の盛況裡に多大の感銘を残り  
事終了致しましたことは、主催者一同唯々感激の外ありませ  
ん。ここに收支決算概要を正に炊事部へ御寄附下さいませ  
し七御芳名を御報告申上りまします感謝の意を表明致します

〇 収 入 之 部

一回	一三〇.〇〇
二回	二三〇.〇〇
三回	一六六.〇〇
合計金	一四七一九.〇〇也

〇 支 出 之 部

炊事部残品売上	一六六.〇〇
誌友会補助	一四七一九.〇〇也
合計金	一四七一九.〇〇也

商店文庫金高  
講師其他へ謝礼  
総支部へ献金

〇 生長の家神性開發練成會へ  
物品寄附者 御芳名

梅口史郎様	卵五打
小倉一三男	卵五打
武山貞美	里平二箱
寺岡熊市	卵五打 鶏二羽
大貫道次郎	大根
三宅利吉様	卵五打 鶏五羽
中浦芳幸	卵五打
木内冠雄	鶏五羽
面川千賀雄	鶏五羽
村上三昇	卵二打 鶏二羽
大貫	卵二羽 マンジョカ
小沢 勇	鶏十羽 小豆四立
信太龍次	卵五打
井上源次郎	鶏五羽
伊藤亮介	鶏三羽
入江寛三助	パン五枚 鶏五羽 打
石橋丈人	茶三日分
磯谷亮石三門	カネ一 里平三日分
若浦秀次郎	様 白米三日分
堀田作努様	
水口主計	
如藤子太郎	
三野善一様	砂糖三日分
招井元三	鶏三羽
小橋宇三郎	鶏四羽
小沢田光昭	クオル一筋
大野英雄	鯉十五斤
池戸信三郎	鯉十五斤
ハストナ産業組合	薪二束
三沢成相	漬物 雑魚
竹原 恵	葱
中浦三司	ラジニア大箱六十箱
較島末文	漬物